

会報【第47号】



平成28年1月発行

活動報告(平成27年10月～12月)

内容

✚ 新年のごあいさつ

✚ 環境

～「時津川のごみ拾い」に50人が参加 90キログラムのごみを収集～

✚ カンボジア支援

～カンボジア支援活動を通しての感想と反省～

～波佐見町立 中央小学校から支援物資を頂きました～

✚ 「やさしいパソコン教室」終了（社協委託事業）

～初心者15人 最高齢者80歳 マイパソコンで年賀状づくりにチャレンジ～

✚ 協働事業 放課後子ども教室（とぎつサタデールーム）

～第5回 時津さるく（温故知新 ふるさと散歩）～

～第6回 「外国の文化を学ぶ」と「印鑑づくり」～

～第7回 クリスマスにちなんだ「英語の学習」と「カードづくり」～

✚ 当面の予定

◎「時津港のごみ拾い」3月26日（土）実施予定（多くの方の参加をお待ちしています）

◎今年度の「とぎつサタデールーム」は、あと3回（8回～10回）です

✚ ホームページ掲載記事リスト

◎ 10月～12月 ホームページ10件 ブログ13件

新年のごあいさつ



あけましておめでとうございます。

昨年の世相を表す漢字は、約 13 万票の応募の中から 5,632 票を集めた「安」が選ばれました。人々を不「安」にさせた年。暮らしの「安」全が揺らいだ年。人々が「安」心を求めた年でした。テロの脅威などによる地球規模の政情不安や環境汚染、異常気象、建築偽装問題などを反映してのものと思われます。

終戦の翌年に小学校に入学し、戦後の物不足の混乱期を生きてきた者として、戦争のない平和な国であり続けることを願っ

てやみません。

流行語大賞は「爆買い」と「トリプルスリー」が選ばれました。こちらは楽しい話題で、個人的には、ラグビーの世界カップで活躍した日本チームが由来の「五郎丸（ポーズ）」が好きでした。このような遊び心のある話題が、受け入れられるのも「安全・安心」の世であればこそと思っています。

さて、当法人は設立から 13 年目、新体制になってから 2 期 4 年目を迎えます。本年も活動目標に ①地域の情報をホームページで紹介 ②パソコン教室の開催 ③環境保全・美化と地球温暖化防止の啓発活動 ④カンボジアの孤児院・学校などへの物資・自立支援 ⑤安全な食の生産と食育を掲げ、行政とも連携を取りながら、町のスローガンでもある「誰でもが住みたくなる町づくり」に取り組んでまいります。

今年は申年（猿）にちなんで、わいわいがやがやチームワークを大事にして、楽しく活動してまいります。最後になりましたが、これまで同様のご支援、ご協力と、相変わらぬご指導、ご鞭撻のほどをお願いして新年のあいさつとさせていただきます。

（理事長 田窪 幸男）

活動の詳細

★ 環 境

～「時津川のごみ拾い」に 50 人が参加 90 キログラムのごみを収集～



当法人主催、時津町後援で、“時津川をきれいにしよう”と呼び掛け、10月17日（土）に

実施した時津川のごみ拾いは、午前 9 時に時津町の丸田橋下親水公園に集合し、川底を歩いて約 2 時間、自然に返らないごみを拾いました。

時津町内に在住の十八銀行時津支店、親和銀行時津支店、ケンコーホーム、啓正会（モンサン）、春回会（長崎北病院）、役場職員および地域住民など約 50 人のご参加をいただき、約 2 割の範囲のごみを拾いました。なお、元

村郷の宮崎温仙堂さんには、収集したごみの集積場または作業終了後の集合場所として、駐車場を提供していただきました。

過去12年間で、雨で延期が2回、雨で中止が2回。記録が残っている平成19年からの収集したごみの量は、19年が700 㕲、20年が440 㕲、21年が550 㕲、24年が210 㕲、25年が210 㕲、26年が290 㕲で、今年は90 㕲でした。

年々、ごみの量は減少傾向にあり、ポイ捨てをしてはいけないという意識の高まりを感じます。

4月にごみ焼却施設「クリーンパーク長与」が稼働開始したことにより、運搬(処分)先が、燃やせるごみが長与に変更になりましたが、特にトラブルはありませんでした。

★ カンボジア支援

今年度は、11月21日から26日までの5泊6日で、皆さんから預かった支援物資を届けるとともに、これまでに支援した現地各所のその後の状況をフォローし、今後の取り組みの参考にすることを目的にして、当法人の会員2人(友岡、太田)が、カンボジアを訪問しました。

以下、太田 千賀子 事務局長のレポートです。

～カンボジア支援活動を通しての感想と反省～



2015 カンボジア支援の旅は、コミュニティ時津からの参加者が2人、現地ではNPO法人「テラ・ルネッサンス」の駐在員 江角氏他2人が参加して活動しました。今回はベトナム、ハノイ経由でカンボジアに入国しました。

現地にいらっしゃるノリア孤児院の岩田さん、テラ・ルネッサンスの江角さんに活動スケジュール、宿泊・交通手段などを手配いただき、スムーズな動きができました。

11月21日(土)朝、福岡空港を出発し、その日はシムリアアップ泊。翌22日から活動を開始し、3時間かけてバタンバンへ移動しました。

ノリア孤児院がオープンしたカフェ「H.O.C」で昼食後に、郊外のノリア孤児院を訪問しました。これまでさまざまに支援してきた農業は、停滞状態でした。水タンク・畑・田んぼなどが活用されていない状況で、ほとんど収穫の見込みがない様子でした。水耕栽培でわずかに採れたレタスをカフェで使っている程度。ほんのわずか収穫できて





干してあった稲が、前夜降った雨で濡（ぬ）れても放置されたまま。子どもたちも激減しており、孤児院全体が荒れた感じを受けました。岩田さんがカフェの方に掛かりつきりになっていて、孤児院の方が手薄になっている様子でした。

カフェの料理は私たちの口には合っておいしく思いましたが、価格は高めで現地人の客は少ないだろうと思いました。日本人を通して会社関係のグループなどが来店されるとのことでした。経営は順調とは思えず、かなり毎月の持ち出しを強いられているのではないのでしょうか。



23日はテラ・ルネッサンス（以降テラと呼ぶ）のスタッフとともに終日活動。朝のお迎えから支援物資の購入、カムリエン州ロカブス村で、小学校、灌漑（かんがい）設備状況、家庭菜園、教会のソーラー設備などを視察するとともに、村や教会のミーティングにも参加しました。灌漑設備のおかげで野菜ができるようになり、村長さんが率先して野菜作りに取り組み、収穫した大きなカボチャが、結構な金額で売れるとの報告に、村人も「ヤル気」になっていました。持参した野菜の種を全員に分けて意義深い集会になりました。教会では近くのため池から簡易ポンプで水を汲み上げ、畑に撒（ま）けることを実践してみせ、共用で利用できることをアドバイスしました。暗くなりかけてその日の活動を終了し、子どもや村人それぞれに、支援物資を手渡して大変喜んでいただきました。



24日は、まず地雷被害者の家を4軒訪問。米、タオル、フランスパンを、また1軒には炊事用のコンロとして七輪も併せて差し上げました。その後、プレアプット小学校を訪問。この日は「水祭り」で休日だったのですが、呼び掛けて登校してもらい、学用品や衣類を子どもたちに手渡しました。途中、村の診療所に立ち寄り、以前設置したソーラー設備を点検整備し、タオルやマスクなど衛生関係の支援品をお渡ししました。



バタンバンのカフェ「H. O. C」でテラのスタッ

フとミーティング。ポンプなど灌漑用の資材を購入する経費として800ドルと、支援団体からお預かりした支援金をお渡しし、ここでテラと別れ、タクシーでシェムリアップに向いました。予定していたホテルが変更になりましたが、無事到着。

25日は朝早い便でシェムリアップ空港から首都プノンペンへ。空港でタクシーをチャーターして「礎の石孤児院」に届ける支援品を購入し、昼すぎに孤児院訪問。今回は子どもたちがお昼寝中で、大きい子だけに会うことができました。18歳の高校卒業試験が難問らしく、近くに小さい家を借りて、試験勉強が落ち着いてできるようにしているそうです。そしてさらに、公立の大学や適性を見極めての職業訓練場へ進めるようにアドバイスしているとのことでした。しっかりしたプランに頭が下がる思いでした。

予定の活動を無事終了し、帰途に就きました。出発の時の日本は寒さを感じず、軽めの服装でしたが、帰国時は冬将軍の到来で、福岡空港で震えてしまいました。

今回の活動では初めて、地雷被害者家族に“七輪”を届けました。既に使っている家もありましたが、現地の人にとっては、1個4ドルが高価で購入できない家庭がまだあるようで、支援品の一つになるかなと思いました。

現地では電柱、電線の敷設が進み、各家庭ではかなり電気が使われるようになっていました。一時期ソーラーパネルによる電気の供給が生活支援の大きな役割を担いましたが、インフラの整備により、サブ的な役割に変わってきています。

今後は、水の供給について上水道の整備が必要かと思いました。10年前に比べれば生活も改善され、学校の整備も進んできました。環境美化も意識されるようになりました。教育内容がさらに充実されて子どもたちが豊富な知識を蓄えていけるように、今後も見守っていきたいと思います。

(事務局長 太田 千賀子 記)

～波佐見町立 中央小学校から支援物資を頂きました～

11月の末に、波佐見町立 中央小学校（中嶋 健蔵 校長）の皆さんから、カンボジアの子どもたちへと、文房具類の支援物資を頂きました。今年度の訪問には間に合いませんでしたが、次回訪問時に現地の子どもたちに手渡しで、皆さんの思いを伝えることにします。

ありがとうございました。

★ 「やさしいパソコン教室」終了

～初心者15人 最高齢者80歳 マイパソコンで年賀状づくりにチャレンジ～



時津町社会福祉協議会からの委託事業「やさしいパソコン教室」は、10月6日に開

講し、11月26日に終了しました。

60歳以上の初心者を対象に、最高齢者は80歳、最年少者は61歳。80歳代が2人、70歳代が5人、60歳代が8人、総計15人が、1回2時間、週2回（火・木）の講座を受講しました。

前期6回（10月6日～29日）で、文字入力からワードの基礎、年賀状の文面づくりに取

り組んだ後に、約2週間の冷却期間を置いて、後期4回(11月17日～26日)で年賀状の宛名づくりに取り組みました。

受講者からは「ワードの操作範囲が広がり良かったです」「分かりやすい指導で、年賀はがきの作成が自信を持ってできます」「パソコンの奥深さを知りました。1日1回開いて勉強します」「あっという間の10日間でした」「今

回の教室は非常に良かったです。次回も受講しステップアップしたい」「もっともっと習いたいことがあります」などの声(アンケート)が寄せられました。

当法人の会員で講師の4人も、研鑽(さん)を積んで受講生の皆さんが、「やさしい」と感じるようなパソコン教室にしていきたいと思っています。

協働事業

★ 放課後 子ども教室 (とぎつサタデールーム)

～第5回 時津さるく(温故知新 ふるさと散歩)～



10月10日(土)、児童51人(10人欠席)とスタッフ18人(うち大学生15人)が参加して、「第5回とぎつサタデールーム」を開催しました。

「時津さるく」(史跡巡り)がテーマで、とぎつカナリーホールを午前9時半にスタートし「日本26 聖人上陸の地」から「ともづな石」

「追分石(道しるべ)」「茶屋(本陣)跡」「継石坊主(鯖くさらかし岩)」を訪ね、出発地点のとぎつカナリーホールに11時45分に戻り、終わりの会をして解散しました。

時津町の中心街を歩くので、4班に分けて1つの班に大学生3人が付き、交通安全に気を配って、予定のルートで「さるき」(歩き)しました。

「温故知新」子どもたちは、何かを感じてくれたことでしょう。

～第6回 「外国の文化を学ぶ」と「印鑑づくり」～



11月14日(土)、児童56人(5人欠席)とスタッフ15人(うち大学生11人)が参加して、とぎつ

カナリーホールで「第6回とぎつサタデールーム」を開催しました。

前半を外大生が担当し、外国(中国・イギリス・アメリカ・ドイツ)の「文化を学ぶ」をテーマに、それぞれの国の留学生とその国に留学経験のある学生が、子ども向けにお国の状

況を分かりやすく説明しました。

プロジェクターとスクリーンを2セット準備し、子どもたちを2チームに分けて、一つ目のプロジェクターで2か国、もう一つのプロジェクターで別の2か国の紹介を、クイズなどを交えて行いました。4つの国の紹介を聞いた子どもたちは、それぞれの国のお菓子を試食しました。

後半担当の長大生の印鑑づくりは、最初、漢字の話として「亀甲文字」「象形文字」を説明し、「篆刻(てんこく)」の話にも触れて、この日の作業内容を説明し作業に取り掛かりまし

た。

低学年の子の安全を考慮し、印鑑の材料には発泡スチロールを使い、鉛筆で穴をあけて作りました。高学年で彫刻刀を使ったことがある余裕のある子は、消しゴムに彫刻刀で彫

るやり方にも挑戦していました。どの子も自分の名前の印鑑を仕上げました。

前後半ともに、授業のやり方に工夫が凝らされて、それぞれの大学（外大・長大）の特性が発揮された取り組みとなりました。

～第7回 クリスマスにちなんだ「英語の学習」と「カードづくり」～



12月12日（土）、児童46人（17人欠席）とスタッフ15人（うち大学生11人）が参加して、時津公

民館で「第7回 とぎつサタデールーム」を開催しました。

前半がクリスマスにちなんだ「英語の学習」で、後半が「クリスマスカードと年賀状づくり」でした。

前半の英語の学習では、中国からの留学生4人を含む外大生が担当し、長大生がサポート役で、クリスマスに関係のある絵付きのカードを見せて、大学生スタッフの発音につけて復唱し英単語を覚えました。

次に、そのカードと同じ絵のある小さめのカードを使って「カルタ取り」と「神経衰弱」および「ジェスチャー当て」のゲームを行いま

した。カードの絵は、トナカイやソリ、靴下、煙突など8つありましたが、繰り返し英単語が出てくるので、子どもたちは、十分に覚えられたようです。

ゲームの賞品はシールで、後半のクリスマスカードづくりに使っていました。

後半は長大生が担当で外大生がサポートに回りました。クリスマスカードや年賀状にはいろいろな種類があることを説明し、作り方は掲示物を見て作るように指示すると、すぐに作業に取り掛かり、短い時間で作品を完成させました。中には、スタッフがスマホで撮影した画像を自分で操作しながら、手順通りに作っている子もいました。テレビや携帯電話が無かった時代に育った人間として、時代の違いを感じました。

子どもには悪の根源のように言われているスマホも、このような使い方もあるのかと、認識を新たにしました。

当面の予定

◎ 「時津港のごみ拾い」3月26日（土）実施予定

ウォーターフロント公園入口に、午前9時集合です。多くの方の参加をお待ちしています。

◎ 今年度の「とぎつサタデールーム」は、あと3回です。

1月9日（土）カナリーホール、2月13日（土）カナリーホール、


3月12日（土）時津公民館

★ ホームページ掲載記事リスト（10月～12月 ホームページ 10件 ブログ 13件）
情報満載のホームページも開いてみよう！

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. 第7回 とぎつサタデールーム | 6. 時津川をきれいにしよう（ごみ拾い） |
| 2. とぎつ生涯学習を考えるつどい・少年の主張 | 7. 会報 46号（コミュニティ時津） |
| 3. 「やさしいパソコン教室」終了（社協委託） | 8. 第5回 とぎつサタデールーム |
| 4. 第6回 とぎつサタデールーム | 9. 「やさしいパソコン教室」スタート |
| 5. 第44回時津町文化祭（音楽祭） | 10. 平成27年度 町民体育祭（長崎県時津町） |

ホームページアドレス：<http://www.togitu.org>

ブログへは当法人のホームページのトップページからアクセスできます。

《ブログ入口  **Go!**》という表示があります、**Go!** をクリックすると開きます。

本会報は会員でない方で、当法人の行事に参加いただいた方や関係先の方などにも配布（情報発信）させていただいております。

従いまして、以下の案内（年会費）は、会員以外の方には関係ございません。

★ 会員の皆さんへ

4月1日から新年度（平成27年度）に入りました。年会費は年度初めに、お納めいただくようお願い申し上げます。納入方法は、下記預金口座にお振り込みいただくか、最寄りの当法人の理事にお渡しください。

十八銀行時津支店	普通 1 9 1 9 7 3	} 口座名： NPO 法人コミュニティ時津
親和銀行時津支店	普通 2 5 7 5 9 1 9	

※ 年度途中のチェックで、年会費の納入確認ができなかった方には、10月と1月発行の会報に「年会費納入のご案内」（お願い）を同封させていただきます。納入が済んでいる方には案内状（お願い）は、ありませんので、二重払いにならないようご注意ください。もし、納入済みの方へ「お願い」が届くなどの行き違いがありましたら何とぞ、ご容赦のほど、よろしく願いいたします。

 NPO 法人
コミュニティ時津

発行元：NPO 法人 コミュニティ時津
〒851-2102 長崎県西彼杵郡時津町浜田郷 110 番地 3
Tel/Fax：095-882-2408 e-mail commutogi@ngs1.cncm.ne.jp
URL <http://www.togitu.org>